

2021年 3月 22日

大正から昭和にかけての常磐館時代の蒲郡を絵葉書でめぐります。

## 海辺の文学記念館「昭和の思い出」展示会

蒲郡クラシックホテル(所在地：愛知県蒲郡市竹島町15-1 統括支配人：安川貴也)は、2020年4月から指定管理者に選定されました「海辺の文学記念館」において、4月1日(木)より常磐館・旧蒲郡ホテル(現蒲郡クラシックホテル)を中心に絵葉書でめぐる蒲郡の「昭和の思い出」展を文学記念館職員の企画で開催いたします。

2018年に発足しました歴史調査の会「蒲郡クラシックホテルの歴史を探る会」や、文学記念館職員が収集した絵葉書で構成し、常磐館周辺の失われた建物・風景を絵葉書にのこされた写真で紹介いたします。今後も展示替えを年数回行う予定です。

今回の展示会に加え、約15年ぶりに昭和天皇皇后両陛下が昭和32年に蒲郡へお越しになられた際に使用されました皇室用食器や、先日発見された旧聚美堂(現蒲郡クラシックホテル 六角堂)の棟札などの展示も行います。

昨年、オール蒲郡ロケで撮影された映画「ゾッキ」の原作本(蒲郡出身の漫画家「大橋裕之氏」)を設置いたします。

また、記念館職員発案による海辺の文学記念館オリジナルの一筆箋1冊(本文30枚)500円(税込)の販売も始め、この度当社が特許庁へ出願していた「時手紙」が2021年3月2日に商標登録されましたのでお知らせします。

4月1日(木)からの一般公開に先立ち、次のとおり報道関係者様向け内覧会を執り行いますので、ご多用の折誠に恐縮ではございますが、ぜひ取材くださいますようお願い申し上げます。

日時 2021年3月31日(水) 14:00～17:00

取材ご希望の報道関係者様は、3月30日(火)までにメール(h.yamamoto@gamagorich.com 山本まで)にてお申し込みください。

よろしく願いいたします。



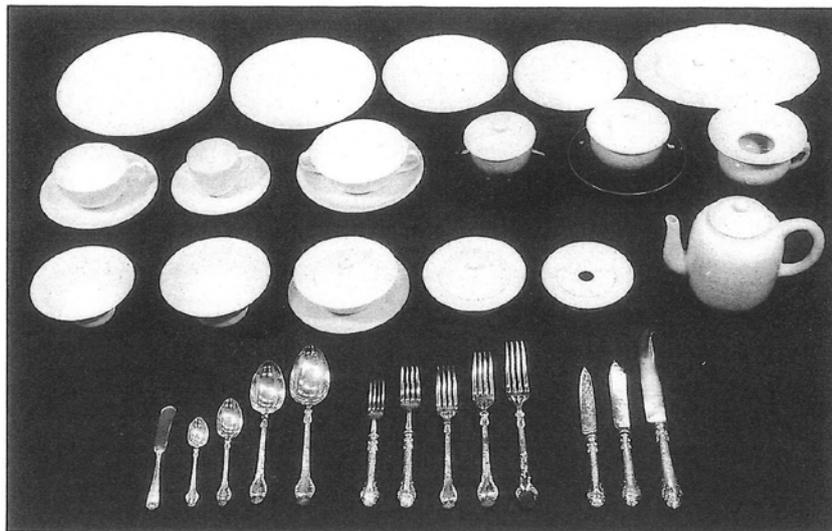
展示される絵葉書の一部



旧聚美堂(現蒲郡クラシックホテル 六角堂)の棟札



旧聚美堂(現蒲郡クラシックホテル 六角堂)の屋根裏



## ▲ 皇室用食器

収納されている木箱のふたに次のように記されている

- 昭和30年3月30日 皇太子1泊
- 昭和32年4月10日 天 皇2泊
- 昭和40年9月21日 皇太子1泊
- 昭和49年11月 皇太子（子供の国）



## ●施設データ

料理旅館「常磐館」は、蒲郡観光の礎を築いた名古屋の実業家滝信四郎氏により 1912 年に竹島海岸に建てられました。蒲郡市の竹島近くは、当時から東海地方屈指の保養地として多くの人々に親しまれて、常磐館からの眺めはまた格別なもので、大正・昭和期にわたり多くの文豪たちに愛されました。

海辺の文学記念館は、100 年を過ぎた今も常磐館と文豪たちを忘れないよう、1997 年に建てられ、館内には、常磐館で実際に使われていた照明器具や置時計などが飾られ、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。ノーベル文学賞を受賞した「川端康成氏」をはじめ、蒲郡市出身の直木賞受賞作家「宮城谷昌光氏」や芥川賞受賞作家「平野啓一郎氏」の作品なども展示しています。

施設名称：海辺の文学記念館

住 所：〒443-0031 愛知県蒲郡市竹島町 1 5-6 2

指定管理者：株式会社 蒲郡クラシックホテル

開館時間：9:00 ～ 17:00、年中無休、入場無料

館 長：安川貴也

<お客さまからのお問合せは>

海辺の文学記念館 TEL&FAX 0533-67-0070 info@ubkinenkan.com

◎本件に関する報道各位からのお問合せは

蒲郡クラシックホテル 担当：山本 尚生

TEL：0533-68-1111 FAX：0533-68-1199

E-Mail：h.yamamoto@gamagorich.com

http://www.classic-hotel.jp/